

私の初詣と神様への感謝

立山町立利田小学校

五年

齋藤

瑠流

元旦になると、わが家では家族みんなで岩
くら雄山神社へ初詣に行きます。雄山神社は
七五三をしたところで、思い出のある神社で
す。

私はいのしし年生まれで、丁度生まれてか
ら十二年がたち、平成三十一年は私の生まれ
た干支です。初めこの年中で、何だか気持ち
がワクワクしています。

天気が良く、雪もほとんどなかつたので、
たくさんの方がならんでいます。いつももの
ように、手水舎^レで右手と左手を洗い流し、
手を清めてから鳥居をくぐりました。拝殿ま
で進み、お母さんと同じようにおさいせんを
入れておじぎを二回し、手をパンパンと二度
打ちました。そして最後に深くおじぎをしま
した。
いのししは、つとつとフもう進^レと言って、
あまり良い言い方で使われないと聞きました。

お母さんから、「周りをよく見ないから」と注意されることがあるのて、やっぱりいいのしし年だからかなあと思っていました。でも、お参りをする前にお母さんから、「目標に向かってまっすぐ進んでいくから良いいこともあるんだよ」と教えてくれました。それと、今年が平成最後の年です。そして新しい年号に変わる年でもあります。いのしし年も十二支の中で最後の年です。変化のある年になるので、私もしかりと目標に向かっ

て進み、成長していけるようにという気持ちを入れてお参りしました。そして、一年間の報告と感謝をし、今年一年家族が元気で過ごせるようにと付け加えました。

お正月には、祖母の家へ行き、神棚、仏さん、天神様にもお参りします。神棚には、お兄ちゃんがかつ伊勢神宮へ行っ、た時に買ったお守りが大切に置かれています。神棚は神様にして、家のよなものなので、お守りを保管しておくには一番良い場所だそうです。

お兄さん、人の目の病気が悪くならず健康でいられるのも、神様のおかげとお母さんが言っていました。家族みんなが神様のおかげで無事に過ごせることを実感し、もっと感謝しなければなりません。

来年の初詣では、昨年より成長した自分を神様に見てもらいたいのと、家族みんなを元気に、新しい年号で新年を迎えられることのお礼を言いたいと思います。来年の初詣が楽しみです。